

「iPhone で輝こう！生活講座」

1. スマホの特徴

- 板チョコのような形状。指で触れて操作する方式。
- ようはパソコンがタッチ操作できるようになった機器。
- Windows、iOS、Android、各種 OS の製品が発売。
- 人気度は iOS > Android > Windows で Apple 製品は圧倒的な支持。
- 障害者向けのアクセシビリティ機能の充実度は iOS > Android。

2. Apple のアクセシビリティ機能

- 視覚障害向けには読み上げ機能（スクリーンリーダー、SR）としてボイスオーバーが標準で搭載。最初から搭載されているので追加の経済的な負担をせずにすむ。
- Apple の製品はすべての人が機器を使いやすくする仕組み（機能）を「アクセシビリティ」と位置づけ標準装備。

3. それでもらくらくホンユーザーが多いのはなぜ？

- ガラケーは、電話のテンキーやかける・切るボタンなどが触れて分かり、押し込むような仕組み（構造）。
- 視覚障害者にとって使いやすい情報端末。
- 電話やメールに関してはこれ一つ持ち歩いていれば、まず困ることのない情報機器。
- ちなみにガラケーとは他の島との接触がなく、独自の進化を遂げた東太平洋上のガラパゴス諸島の生物になぞらえた用語。
- 「ワンセグ」「静止画・動画の撮影」「おサイフケータイ」「着うた・着メロ」などは、日本の携帯電話の特徴的な機能。

4. タッチジェスチャー

- 同時に複数の箇所接触することで複雑な操作を可能とする方式のこと。
- 1本の指から4本の指を使う動作、画面をぽんと叩くやり方、横にスライドなど多岐にわたる。
- 画面上にすべての操作ボタン。触れると、いろいろな機能を実行したり決定できる。

5. iPhone の基本

- ・画面に触れる操作を「タッチ」や「タップ」。
- ・メール、インターネットによる検索のほか、「ツイッター」や「フェイスブック」
近況を投稿したり、「ライン」で家族や友人、知人とメッセージを交換したり、自ら情報を発信したり…。
- ・音楽をやラジオを聴いたりなども。

6. iPhone を選ぶポイント

- ・ドコモ・ソフトバンク・auショップなど。
- ・SE / 6S / 6S+ / 7 / 7S+。
- ・ジェットブラック、ブラック、シルバー、ゴールド、ローズゴールド。
- ・画面サイズは、5S が 4 インチ、6 が 4.7 インチ、6 プラスが 5.5 インチ。
- ・SE は名刺サイズ、6 は生徒手帳の大きさ。
- ・ホームボタン、音量 Up/Down、消音スイッチ。
- ・カメラは有益な道具に。

7. 視覚障害向けのお勧めのアプリ

- (1) マネーリーダー
- (2) 衣服の色調べ
- (3) TapTapSee
- (4) OCR
- (5) Blind Square

※そのほかにもいろいろ。一般的なアプリで十分活用できる。